

強くやさしく男の子 やさしく強く女の子

10月の校長講話（要約） 「せんぱいの思い」

昨日の元気アップサポート委員会が計画したミニミニ運動会を見ていてとてもうれしく思いました。自分たちで計画、準備、運営、後片付けまで行い、しかも、全校のみながとても楽しい時間を過ごすことができたからです。今回のミニミニ運動会だけでなく、廊下歩行や挨拶についてもよりよくなるように高学年が中心となり自分たちで考え、行動しています。

4月に黒森小学校はみんなの学校だと話しました。みんなの学校だからみんなで作っていかうと話しました。こうして自分たちで学校生活を見直し、行動していることが何よりうれしく思います。

これから紹介する話は、みなさんにも知ってもらいたいと思いました。黒森小学校出身で現在中学3年生の2名の先輩方が、酒田飽海地区の弁論大会で1位になったというのです。弁論大会というのは、簡単に言うと作文を暗記して、身振り手振り、話し方を工夫してみんなの前で発表するものです。1人は、佐藤太一さんです。これは日本語での発表です。もう1人が佐藤咲穂さんです。こちらは英語での発表です。これだけでもうれしいのですが、2人の発表の内容が黒森歌舞伎への思いを伝えるものでした。

酒田四中に原稿をいただけませんかと聞いてみたら、気持ちよく送ってくれました。今回は、日本語で書いている佐藤太一さんのものを紹介しますので聞いてください。

（中略）※原稿は校長室前廊下に掲示してあります。

さて、この発表を聞いてどんなことを考えますか。先輩たちの黒森歌舞伎への思いが伝わってきたのではないのでしょうか。これから本格的に練習が始まりますが、皆さんも先輩たちが築き上げた黒森小学校の伝統を受け継ぎ、しっかり練習してほしいと思います。

【子どもたちの声】

- ・ ぼくは太一さんの作文を見て、じもとの黒森かぶきを作文にしていますばらしいと思いました。（若生琉介さん）
- ・ 歌舞伎に対する思いが強かったです。（榎本萌亜さん）